

受け入れ電離箱一覧(水吸収線量・分離または一体方式による JCSS 校正) 2020 年 12 月 15 日版

総数 2 頁のうち 1 頁

円筒形

製造業者	型式	公称容量 [cm ³]	一体校正における 受け入れ条件	備考
PTW FREIBURG	30013/30006	0.6		
	30011	0.6		
	30010/30001/23333	0.6		
	31013/31003	0.3		
	31010/31002	0.125	Low 等の高感度レンジのみ	
	31015/31005	0.03	Low 等の高感度レンジのみ	
IBA Dosimetry	FC65-G	0.65		
	FC65-P	0.65		
	CC25	0.25		
	FC23-C	0.23		
	CC13	0.13	Low 等の高感度レンジのみ	
	CC04	0.04	Low 等の高感度レンジのみ	
Standard Imaging	A12/A12MR	0.64		
	A19/A19MR	0.62		
	A12S/A12SMR	0.24		
	A1SL/A1SLMR	0.053	Low 等の高感度レンジのみ	
応用技研	C-110(0.6ml)	0.6		
	C-110(0.2ml)	0.2		

本校正における電離箱の基準点は、標準計測法 12(日本医学物理学会 編)の表 2.1 に従い、

円筒形は電離空洞の幾何学的中心です。

公称容量に依り、一体校正を受け入れていない組み合わせの電位計の型式またはレンジがあります。

2023 年 4 月 1 日校正実施分より、分離校正のみで受け入れを継続する予定です。

次頁につづく

平行平板形

製造業者	型式	公称容量 [cm ³]	一体校正における 受け入れ条件	備考
PTW FREIBURG	34001	0.35		
	23343	0.055	Low 等の高感度レンジのみ	防浸キャップ必須
	34045	0.02	Low 等の高感度レンジのみ	防浸キャップ必須。 2022 年 10 月 1 日 校正実施分より、分 離校正のみで受け 入れを継続予定※1
IBA Dosimetry	PPC40	0.4		
	NACP-02	0.16	RAMTEC1000D との組 み合わせは Lo のみ※2	
	PPC05	0.05	Low 等の高感度レンジのみ	
Standard Imaging	P11	0.62		
	A11	0.62		
	A10	0.05	Low 等の高感度レンジのみ	防浸キャップ必須

本校正における電離箱の基準点は、標準計測法 12(日本医学物理学会 編)の表 2.1 に従い、
平行平板形は電離空洞前面の中心(前壁変位法を適用)です。

公称容量に依り、一体校正を受け入れていない組み合わせの電位計の型式またはレンジがあります。

2023 年 4 月 1 日(一部の型式を除く)校正実施分より、分離校正のみで受け入れを継続する予定です。

※1 現コバルト線源の強度低下を考慮し、先行して分離校正へ移行する予定です。

※2 過去に校正依頼数が多かった組み合わせについて掲載しています。

以上